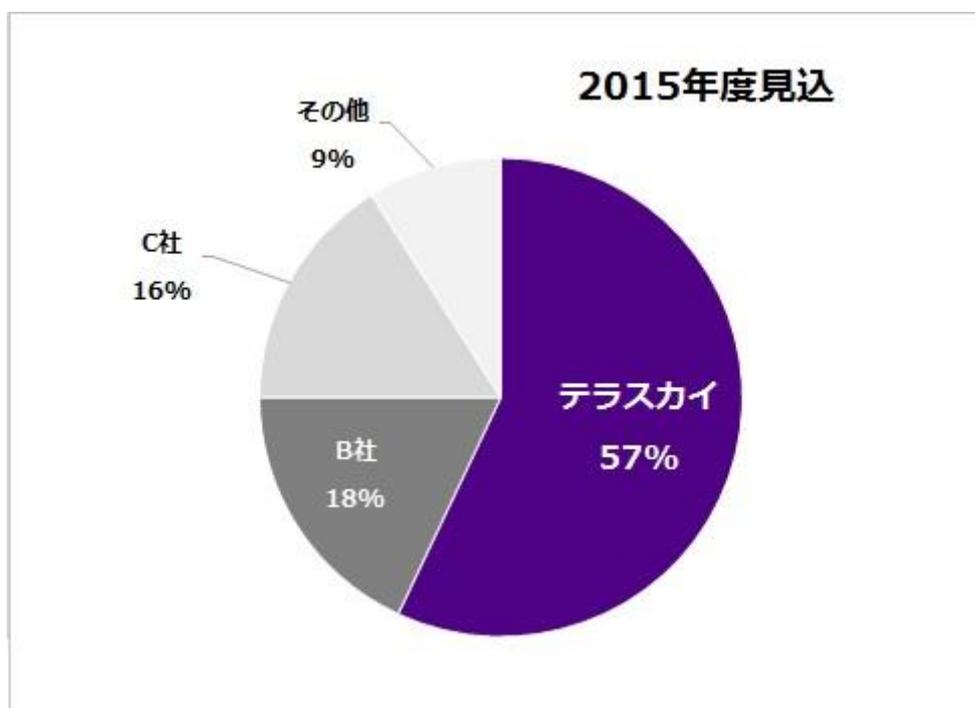


【報道関係各位】

2016年5月25日
株式会社テラスカイ

画面開発ツール「SkyVisualEditor」が UI 生成・実行ツールの市場でシェア No.1 を獲得

クラウド・インテグレーションとシステム連携に特化したサービスやソフトウェア開発を行なう株式会社テラスカイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：佐藤 秀哉、以下 テラスカイ）は、株式会社ミック経済研究所より発行された「次世代型超高速開発ツールの市場動向 2016 年版」において、Salesforce の画面開発ツール「SkyVisualEditor」の販売実績が UI 生成・実行ツールカテゴリーにおいてシェア No.1 を獲得したことを発表いたします。



SkyVisualEditor は、マウスのドラッグ&ドロップだけで使い勝手のよい Salesforce 画面を生成することができる画面開発プラットフォームです。Salesforce はカスタマイズ性の高さが評価され、全世界 15 万社以上に利用されています。しかし、業務に合わせた画面を個別開発しようとする、その柔軟性を損なってしまいます。SkyVisualEditor は、Salesforce のカスタマイズ性を維持したまま使い勝手のよい画面を開発できることから、多くの Salesforce ユーザーに支持され、全世界で 55 万ユーザー以上が利用しています。

また、本レポートでは以下のように解説されています。

「クラウドサービスの伸びが全体を押し上げており、今後、超高速開発がオンプレミスのスクラッチ開発からクラウド開発へシフトしていく中で高い UI=UX のニーズが求められている。」

<SkyVisualEditor について>

SkyVisualEditor は、Salesforce の画面をノンプログラミングで開発するクラウドサービスです。ユーザー企業だけでなく、システム開発会社でも開発期間の短縮や、運用フェーズでの柔軟な改修を目的として利用するケースが増加するなど、利用の幅が広がってきています。

◆SkyVisualEditor の詳細はこちらからご覧いただけます。

<http://info.skyvisualeditor.com/>

◆SkyVisualEditor の導入事例はこちらからご覧いただけます。

<http://info.skyvisualeditor.com/case/>

<株式会社テラスカイについて>

テラスカイは、クラウド創世記からクラウドに取り組んできたリーディングカンパニーです。2006年の設立以来、クラウド時代の到来を一早く捉え、セールスフォース・ドットCOMのコンサルティングパートナーとして、導入・普及に取り組んできました。導入実績は金融、保険業界をはじめ医療、サービスなど業界を問わず 2,000 件を超え、日本のコンサルティングパートナーではトップクラスの導入実績数を誇っています。また、多くの実績から得られた知見を基に、開発効率を飛躍的に改善するクラウドサービスの開発・提供を行っています。

所在地：東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 7 階

設 立：2006 年 3 月

資本金：4 億 5,403.5 万円

代表者：代表取締役社長 佐藤 秀哉

U R L：<http://www.terrasky.co.jp/>

東証マザーズ 証券コード：3915

※ 本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

--- 本件に関するお問い合わせ先 ---

株式会社テラスカイ 経営企画部 マーケティング・コミュニケーションチーム

担当：松本 / 田中 TEL：03-5255-3410 / mail：pr@terrasky.co.jp